

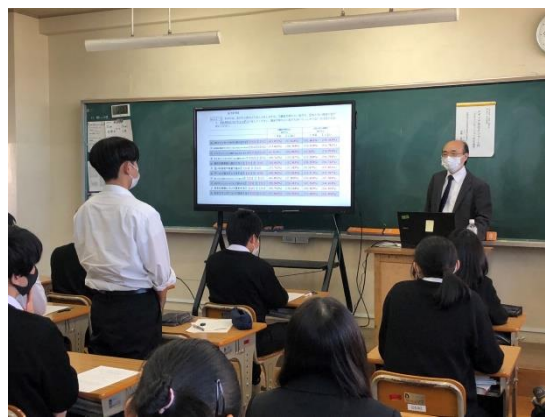
R 3 第2学年対象「大学出前授業」

- 実施日時 令和3年11月12日（金） 第5・6校時 13:40～15:20
- 実施対象 本校第2学年生徒（277名）
- 実施場所 第2学年各教室、西教室、視聴覚室
- 実施講座 茨城大学、筑波大学、宇都宮大学、高崎経済大学、電気通信大学、東北大学の先生方を招いての全9講座（うち3講座はオンラインにての実施）

大学	学科	講師氏名	講義番号・タイトル	人数
茨城	人文社会科学部 現代社会学科	かとう あつし 加藤 篤志 先生	①「メディア文化メジャー入門 （コミュニケーションの社会学）」	32名
筑波	人間学群 心理学類	さとう ゆうこう 佐藤 有耕 先生	②「心理学入門～自己理解のための学び～」	44名
宇都宮	国際学部 国際学科	ちよん きりよん 丁 貴連 先生	③「多文化共生とソフトパワー ― 村上春樹を手掛かりとして」	27名
高崎経済	経済学部 経営学科	みとみ ゆうき 三富 悠紀 先生	④「具体例から見るマーケティング に隠された企業の考え！」	33名
茨城	農学部 食生命科学科	あんざい ひろゆき 安西 弘行 先生	⑤「バイオサイエンス入門」	28名
筑波	理工学群 工学システム学類	もんじ ひであき 文字 秀明 先生	⑥「大学講義と自動車工学」	31名
宇都宮	地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科	なかじま しろう 中島 史郎 先生	⑦「木質構造―木造建築のこれまで とこれから」	24名
電気通信	情報理工学域 I 類(情報系)	ぬまお まさゆき 沼尾 雅之 先生	⑧「AI、IoT、Deep Learningを理解する」	29名
東北	工学部 化学・バイオ工学科	あおき ひでゆき 青木 秀之 先生	⑨「工学部の化学とは？化学の知識を工業に展開 する化学工学」	27名



安西先生（茨城大学）



加藤先生（茨城大学）



三富先生（高崎経済大学）



佐藤先生（筑波大学）



沼尾先生（電気通信大学）



青木先生（東北大学）

<生徒の感想から>

① 加藤先生（茨城大）「メディア文化メジャー入門」

- コミュニケーションの手段が変化していく中で研究を続けていく難しさを感じました。コミュニケーションの「あたりまえ」は時代や社会が変われば変化するということが印象に残りました。
- 国や地域での社会、文化の差で人間関係や使う SNS ツールの差など興味深いものが色々あった。心理学に近いイメージを持っていたコミュニケーションというものと、さまざまな事象を社会との関連で考える学問である社会学を掛け合わせていることに驚いた。そして、とても面白かった。

② 佐藤先生（筑波大）「心理学入門」

- わからないことはストレスだというお話があった。自分の探究のテーマに近い内容で興味を持った。人と人との関係性や個人の内面を学ぶことが心理学だと思っていたが、錯視などの生物学的な要素もあり、心理学では幅広く学習ができるなと思った。このような内容や、心理学の研究に必要なのを見えないものを見る力だという話を聞き、心理学は意外と自分にあっているのかもしれないなと思った。
- 当初、心理学に対して難しいイメージがありました。具体的には、「心の分析をする」のが心理学だと思っていたからです。しかし今回の講義を受講して、心理学を学ぶことで「新たな自分を発見できるのでは」と楽しさを感じました。質疑応答で質問しようとしたのですが、時間になってしまったので機会があれば質問したいです。貴重な機会になりました。

③ 丁先生（宇都宮大）「多文化共生とソフトパワー」

- 将来、進路に役立つかどうかに関わらず講義を聞いて良かった。今後のグローバル社会において世界に通じる価値観や多文化理解は必要なので講義を聞いて終わりにはせずにこの話題について考え続けたい。村上春樹について興味が出たので先ずは彼の本を読んでみたくなった。
- 現在、韓流ブームがあり日本は遅れていると感じていたが、村上春樹さんのような作家がこれから必要となるソフトパワーの時代には大きく影響を与えると分かった。海外には日流ブームがあり、多くの人が日本に関心を持っていてこれからの多文化共生の社会には海外に興味を持っていくことが重要だと考えた。

④ 三富先生（高崎経済大）「具体例から見るマーケティングに隠された企業の考え！」

- 商品は、並び方も値引きの仕方もよく考えられていることがわかった。
これからどんな風に商品が並んでいるのか、CM でどのようにインパクトを与えているのかを考えながら見て行きたい。
- 経営学とは会社を起こすことだけかと思っていたけれど、会社を起こすための技術を上手く使ったり、消費者の心理を考えたりすることが大切だとわかったので、より一層興味が湧いた。

⑤ 安西先生（茨城大）「バイオサイエンス入門」

- バイオについての基礎的な所から少し専門的な所まで、具体的な例を用いながら分かりやすく教えて頂いて凄く勉強になったし、有意義な時間を過ごすことができました。
また、イカを固形培地したものや液体培養したもの、納豆菌などを実際に見せて頂きすごく感動しました。将来は生物科学を学べる学部、仕事に就きたいと考えているので、今日学んだバイオテクノロジーについて知識として身につけられるようにこれからもっと生物の勉強を頑張ろうと思いました。
- 大学の教授の話聞いて生き物の力を利用する技術は面白いと思いました。教授の研究に対する熱意が伝わりました。

⑥ 文字先生（筑波大）「大学講義と自動車工学」

- 数学は物理と計算するところが似ている、としか思っていなかったのですが、数値化しないとコンピュータに入れられないと聞いて、とても納得した。今日の物理の授業で習った内容が講義で出てきたので、楽しかった。
- 数学が基礎となって物事を考えていくので、数学はしっかりやっておくべきだと思った。
運動の変換や、様々な運動を組み合わせることで機械として機能しているということが分かった。

⑦ 中島先生（宇都宮大）「木質構造」

- すごく身近なのに全く知らないテーマだったから新しい発見や面白いところがたくさんあった。これから、建物を見る時の見方も少し変わると思う。
- 今住んでいる家が建てられるときに、父と週5 で通って間近で建てられているのを見ていたことを思い出しながら講義を聞かせていただきました。

⑧ 沼尾先生（電気通信大）「AI, Iot, Deep Learning を理解する」

- これまで人工知能についてはほんの少し、言ってしまうと名前程度のことしか知らなかった。けれども、人工知能に可能な技術、成し遂げている成果、今後の課題や弱点、つまり利点や欠点について、今回のこの講義で学ぶことによって、バケツ一杯くらいだった知識がお風呂の浴槽になるまでには深まったと思う。そう思えるほどに先生は沢山のことを細かく教えてくれた。
- 言葉は聞いたことがあっても、その意味はよくわからなかったものを少し理解できたような気がします。これから人工知能の技術はいろんな場面で人間にいい影響と悪い影響を与えようと思うので、理解した上で向き合っていきたいと思います。

⑨ 青木先生（東北大）「工学部の化学とは？」

- 自動車の塗装について、ここまで深いとは思いませんでした。「塗装」することに 8 時間もの時間を使い、ロボットも関係していることに驚きました。人間の生活を豊かにするために、環境に気を使ったり、飢餓に苦しむ人達のことまで考えて開発していることがすごいなと感じました。とても有意義な講義を聞けて良かったです。
- 少し難しかったが、理学と工学の差異や、日本の侍の刀の技術に関するお話が面白く、有意義な時間だった。